

平成 31 年度 第 1 回病院・薬局実務実習関東地区調整機構委員会総会 議事録（案）

日時：平成 31 年 4 月 17 日（水）14:00～16:30

場所：慶應義塾大学薬学部 1 号館地下 1 階 マルチメディア講堂

出席者：関東甲信越 1 都 9 県薬剤師会委員 12 名（代理 2 名、オブザーバー 1 名）、病院薬剤師会委員 9 名、日本保険薬局協会委員 1 名、日本チェーンドラッグストア協会委員 1 名、23 大学委員 45 名（代理 2 名、オブザーバー 6 名）、委員長指名運営委員 2 名（日本病院薬剤師会、薬剤師会）、関東地区調整機構病院小委員会 1 名、薬学教育協議会 1 名、関東地区調整機構 2 名、厚生労働省 2 名、文部科学省 3 名、（出席者委員名簿参照）

司会進行：吉山副委員長

1. 報告事項

- 1) 薬学教育協議会報告：特に報告はない。（本間）
- 2) 平成 30 年度第Ⅲ期実務実習実施状況報告（関東地区）（伊東）
 - ・ 資料 1-2-1 に基づき報告された。学生の実習態度が原因となっているトラブルが 10 件あり、これについては大学における指導を徹底していただきたい旨報告された。
- 3) 平成 31 年度実務実習実施日程（伊東）
 - ・ 資料 1-3 に基づき報告された。
- 4) 2020 年度病院・薬局実務実習割振り日程（伊東）
 - ・ 資料 1-4-1、1-4-2 に基づき報告された。2020 年度に関しては、資料 1-4-2 に沿ってエントリーを進めてほしい旨報告された。
- 5) 小委員会報告
 - (1) 大学小委員会（三原）
 - ・ 資料 1-5-1 に基づき報告された。
 - (2) 病院小委員会：特に報告はない。（橋本）
 - (3) 薬局小委員会（山田）
 - ・ 資料 1-5-3①に基づき報告された。その中で薬局小委員会からの要望に基づいて、薬局施設の割振り手順を資料 1-5-3②のように変更することが伊東委員長から報告された。特に、希望薬局は 3 つまでであるいはどこでもよいとし、順位をつけないこと。自宅近隣、親族が働く、親族あるいは自身が患者である施設は避けること。エリア担当者は、エリア内での状況を踏まえて希望施設の中から決定していく旨報告された。
 - (4) 指導薬剤師養成小委員会（小佐野）
 - ・ 2019 年度は資料 1-5-4 のような実施計画であることが報告された。特に以下のことが報告された。
 - ・ 保険薬局協会の受講者は各回に参加人数の割り振りを行った。
 - ・ 6 月 2 日に調整機構主催の ADWS を実施する計画である。
 - ・ 座学講習会については調整機構との共催として実施する計画である。
 - ・ WS の実施に当たっては、受講者の受講資格と認定条件を確認してほしい。
 - ・ 現在実施の ADWS は OBE の内容について実施しているが、今後は各都県、大学における実務実習上の問題点を題材として実施していきたい。

- ・ 2019年度のWS 大学受講者については、割り振り表に基づいて受講者を出して頂きたい。
- (5) トラブル防止小委員会（嶋田）
- ・ 資料 1-5-5 のようにトラブル事例をまとめたことが報告された。この中で、学生が実務実習や施設の場を SNS に登校した事例、通常指導薬剤師が指導すれば自然に改善してくるが、その傾向が見られない学生についての事例、担当教員から電話を含めて一切連絡、訪問が無かった事例などが報告された。
- (6) 実務実習評価委員会（吉山）
- ・ 資料 1-5-6①、②に基づき報告された。5月12日に、病院・薬局実務実習の評価報告書に基づく優秀な事例に関する報告会を開催する予定であることが報告された。

2. 協議事項

- 1) 平成 30 年度第 2 回病院・薬局実務実習関東地区調整機構委員会議事録（案）（伊東）
資料 2-1 について協議し、承認された。
- 2) 平成 30 年度事業報告（案）（伊東）
資料 2-2 に基づき説明がなされ、承認された。
- 3) 平成 30 年度決算報告（案）（永田）
資料 2-3 に基づき報告し、承認された。
- 4) 2020 年度実務実習他地区からのふるさと実習受入れ（伊東）
関東地区での病院・薬局実習申込み方法について資料 2-4 に基づき説明がされ、承認された。
- 5) その他
 - (1) 関東地区調整機構旅費規程について（須田）
 - ・ 資料 2-5 について旅費規程の変更点について説明され、承認された。
 - (2) 関東地区調整機構事務局職員について（伊東）
 - ・ 事務局職員について、2 名とも無期雇用職員とする提案が委員長よりなされ、承認された。
 - (3) トラブル防止委員会、実務実習評価委員会の統合について（伊東）
 - ・ トラブル防止委員会、実務実習評価委員会を統合し、実務実習向上委員会とする提案が委員長よりなされ、承認された。
 - (4) 事務局長の人事について
 - ・ 須田事務局長より退任の申し出があり、後任について伊東明彦委員長を推薦したいとの提案があり承認された。
 - (5) 質問事項等
 - ・ 実習期間中に増税があるがその取扱いについて調整機構としての統一見解を示してほしい。（神奈川県薬・久保田） 協議の結果、消費税については実習費支払時の消費税を適用することで一致した。
 - ・ この会議で報告されたトラブル事例などを実習施設側に情報公開してよいか。（新潟県薬・五十嵐） 委員長より問題ない。特にエリア担当者に周知してほしい。との回答がなされた。
 - ・ 医薬ジャーナル社の破綻により神奈川県の病院実習で使用している実習書が入手困難となった。（神奈川県薬・渡邊） 大学としてはどのように対応したらよいかとの質問があり、実習書の使用については各受入れ施設と大学との間で協議して対応することとした。

3. 委員長・副委員長などの選出

- 1) 関東地区調整機構委員長の選出：吉山友二（北里大）が選出され承認された。
- 2) 関東地区調整機構副委員長の指名：吉山新委員長より三原潔（武蔵野大）が指名され承認された。
- 3) 常置委員会委員長、副委員長の報告：各委員会で以下の様に選出され承認された。
 - ・ 大学小委員会：（委員長）中村智徳、（副委員長）嶋田修治
 - ・ 病院小委員会：（委員長）渡邊真知子、（副委員長）渡邊徹
 - ・ 薬局小委員会：（委員長）久保田充明、（副委員長）田中友和
- 4) 特別委員会の委員長、副委員長の報告：各委員会で以下の様に選出され承認された。
 - ・ 実務実習向上委員会：（委員長）林宏行、（副委員長）眞壁秀樹
 - ・ 指導薬剤師養成小委員会：（委員長）小佐野博史、（副委員長）浅井和範
- 5) 委員長指名の運営委員：以下の様に承認された
 - ・ 薬局関係：山田純一、病院関係：日本病院薬剤師会
 - ・ 日本保険薬局協会、日本チェーンドラッグストア協会、薬学教育協議会も継続して運営委員とする。

以上

（記録 中島孝則）